

森の新聞

日本野鳥の会ひろしま



2011. 9,10

No. **176**

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html



9月

- 3 (土) 連絡会 (18時半～)
- 4 (日) 松永湾探鳥会
- 11 (日) 八幡川探鳥会
- 23 (祝) 龍頭山探鳥会
- 25 (日) 新山探鳥会

10月

- 1 (土) 連絡会 (18時半～)
- 2 (日) 葉田竜王山探鳥会
- 9 (日) 可愛川探鳥会
- 23 (日) 八幡川探鳥会
- 26 (水) 森の新聞発送 (18時半～)
- 30 (日) 太田川探鳥会

※シギ・チドリー斉調査日 9月11日 (前後)

※ミニ・バードソン参加者募集!

実施期間

10月22日～11月13日

日本野鳥の会 **連携団体全国総会** (仮称) に参加して

7月2日～3日に神奈川県川崎市で開催された表記に参加したので、概要をお知らせします。なお、参加者は支部代表41人のほか、評議員(長)、理事(長)、本部職員など約70名でした。

■プログラム

1 佐藤理事長挨拶 会の趣旨説明、野鳥の会の現状説明(公益財団法人移行)

概要;本部は文科省から「公益財団法人日本野鳥の会」として認可され、4月1日付で登記した。旧組織とは役員名称の役割が逆転し、評議員会の下に実務機関として理事会が位置するようになり、柳生会長が評議員長兼務、佐藤副会長が理事長兼務となっている。支部名称についてはこれまで説明してきたとおり。

2 日本野鳥の会連携団体全国総会(仮称)の今後の在り方について

概要;目的は公益法人化で廃止された拡大評議員会に代わり、連携団体=支部等=と本部の交流、意見交換の場等。(略称;日本野鳥の会全国総会) 来年からも財団本部の事務担当で開催する。費用負担、開催場所の持ち回り等については今後検討する。次回開催は2012年5月26日(土)～27日(日)首都圏にて。

3 講演『高病原性鳥インフルエンザについて』 講師 鳥取大学 山口剛志 先生

『日本の渡り鳥などの野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況』

講師 日本野鳥の会 金井裕 先生

概要;講師、内容とも5月28日に鳥取支部担当で開催された中四国ブロック連絡会での講演とほぼ同様。参加された佐藤理事長(副会長)がそのわかりやすく深い内容に感心し、是非全国の代表者にも聞いてもらいたいと急きょ手配されたとのこと。鳥取支部(当ブロック)にとって大変名誉なことと思います。

4 東日本大震災に関する本部の対応、被災団体(支部)からの報告

概要;会員(支部員)の死亡者は北上支部で1名(ほかに行方不明1名)のみ。

本部としては独自の募金活動、被災会員の会費免除、福島産食品等の販売(野鳥7月号にカタログ同封)などのほか、福島県での復興イベントに柳生会長ほかに参加。双眼鏡、スコープ、三脚等観察用具の寄付も求める。ただし、破損、不具合のない品で、送付する前に本部と電話等で詳細を打ち合わせてほしい。

5 風力発電について

概要;今後は海上風力発電が増える傾向。

(本部としての風力発電に対する考え方等については公表されています。インターネットで「日本野鳥の会 風力発電」と検索すれば出てきます・・・福本注記)

6 情報・意見交換 その他(省略)

支部長 福本幸夫

“ミニ・バードソンの2011” 参加者募集！

恒例のミニ・バードソンも 22 回目の開催となりました。がむしゃらに走り回って優勝を目指すのも一つの楽しみですが、気の合った仲間たちや家族と、お気に入りのフィールドでバードウォッチングを楽しむのも魅力です。今回から、参加費が 1 人 200 円になり、ご夫婦やご家族など、少人数のチームでより参加しやすくなりました。県支部の伝統行事を末永く続けていくためにも、たくさんの会員のみなさんに参加していただきたいと思います。

★バードソン[birdathon]とは、「バードウォッチング」と「マラソン」の合成語です。

発祥の地は自然保護先進国のイギリス。1986 年から 1998 年まで、日本野鳥の会のチャリティイベントとして開催され、全国に広まりました。その後、「会員の親睦を深め、募金により自然保護に寄与する」ために、より親しみやすいルールに変更されたミニ・バードソン」が県支部独自の行事として始まりました。

■開催期間 2011 年 10 月 22 日(土)～11 月 13 日(日)

■募金先

集まった募金は、支部の「野鳥と野鳥の生息する環境の保護・保全活動のための基金」に算入します。この基金は、将来、八幡川河口埋立地内に野鳥園が完成したときに設備や備品を寄贈するなど、支部の保護・保全活動に使わせていただきます。

■競技内容

支部会員を含む 2 名以上でチームを組んでください。

開催期間中の 1 日を定め、0 時から 24 時の 24 時間以内にチームのメンバー全員が何種の野鳥を観察できるかを競います。(日付をまたぐことはできません)

- ① 競技時間内に、チームメンバー全員が、野鳥の姿を確認するか、鳴き声を聞いた時点で記録とします。同一個体でなくてもよく、また、競技時間内であれば、メンバーが別々に発見してもかまいません。
- ② 記録の対象となる野鳥は、日本鳥学会「日本鳥類目録第 6 版」に掲載されている種、およびコジュケイの 543 種とします。これ以外の種は連絡会で協議して判断します。
- ③ 飼育されている鳥、および直前に放鳥されたとみられる鳥は記録の対象としません。
- ④ テープやおとりの使用など、野鳥の生息に支障のある方法で観察した種は、記録として認めません。
- ⑤ 観察種中、最低 1 種は県内で観察した種を含まなければいけません。

■参加申込

10月10日(一次締め切り)までに、別紙「参加申込書」の太枠内に必要事項を記入して、郵便・FAX・メール・手渡しでお申し込みください。

一次締切以降も、11月13日の競技期間終了まで随時参加を受け付けます。

■参加賞

参加賞として、チームの「**写真入り記録証**」を差し上げます。

ただし、10月30日の太田川探鳥会で参加される方を除きます。

〔太田川探鳥会で参加される場合は、ミニ・バードソン参加費を免除し、探鳥会参加費200円と観察種数に応じた募金のみをいただきます。〕

■参加費

1人 200円 (競技終了後、募金と共に提出してください)

※今回より1チームごとの参加費ではなく、メンバー1人あたりの参加費に変更します。ご夫婦やご家族でチームを組むなど、少人数のチームでより参加しやすくなります。

■募金

①参加者は、観察種1種につき1人〇円(10円単位)、種数に関わらず定額〇円など、それぞれのチームで事前に決めて募金してください。

②参加者は、メンバー以外から募金を集めても構いません。

■結果報告

①参加申込後、参加者に「結果報告書」のフォーマットをお送りします。

②結果報告書は、競技終了後、11月28日(月)までに、参加費と募金、競技中のチームのメンバーが写った写真(できれば画像データで)といっしょに、提出してください。(チームの写真は、表彰状、記録証、および支部報・年報に掲載するために使用します)

■表彰

☆観察種数の一番多かったチーム

☆募金額の一番多かったチーム

☆ユニークな参加方法のチーム

各1チームを総会にて表彰し、表彰状と記念品を贈呈します。

■お申し込み・お問い合わせ

担当：堀江

E-mail：■17468@nifty.com

電話：090-■51-■28



たん・たん・探鳥会

9・10月

長い夏もそろそろ終わりが見えてきて、
待望の渡りのシーズンがやってきました。
シギ・チドリやタカの渡りと豪華絢爛です。
さあ、鳥見へGo！

① 探鳥会は原則として「雨天中止」
「参加費 200 円」（中学生以下
無料）です。

② JRの記載時刻は 8 月現在です。
ご利用の方は直前に運行時刻を
ご確認ください。

③ 自然に触れ、自然の姿を楽しむ
観察会です。ごみを捨てない、
採集はしない、歩行中禁煙等の
フィールドマナーは守りましょう。

④ 探鳥会についてのお問い合わせは、
各探鳥会の担当者、または企画担当者（光本）までお願いします。

探鳥会 9・10月

9/4（日）	松永湾探鳥会	（福山）
11（日）	八幡川探鳥会	（広島）
23（金祝）	龍頭山探鳥会	（北広島）
25（日）	新山探鳥会	（世羅）
10/2（日）	葉田竜王山探鳥会	（三原）
9（日）	可愛川探鳥会	（安芸高田）
23（日）	八幡川探鳥会	（広島）
30（日）	太田川探鳥会	（広島）

★県支部HPをご活用ください！

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html

- 会員にも、会員では無い人にも、是非ご覧いただきたいHPです。
- 探鳥会についても、Webの機能を活用して、紙面に載せきれない詳細なご案内を掲載しています。
- 開催内容の急な変更や、開催中止にも、リアルタイムで対応しています。
- 「支部からのお知らせ」「野鳥情報の公開」も掲載中です。

広島県内の野鳥観察には欠かせない情報が満載です。是非HPをご活用ください。

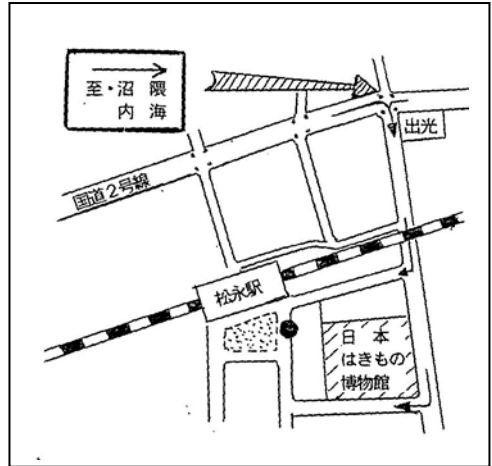
●秋の渡りが始まるよ パート2

No.1786 松永湾探鳥会 9 / 4 (日)

県東部最大の干潟・松永湾に、渡り途中のシギやチドリが姿を見せています。当日は9時が干潮で満ち潮とともに寄ってくるシギ・チドリを観察できそうです。暑さには万全の備えでご参加ください。

■9:00 JR・松永駅南口に集合。車に分乗して移動し、昼前に解散予定です。

担当:石井



●秋の渡りが始まるよ パート3

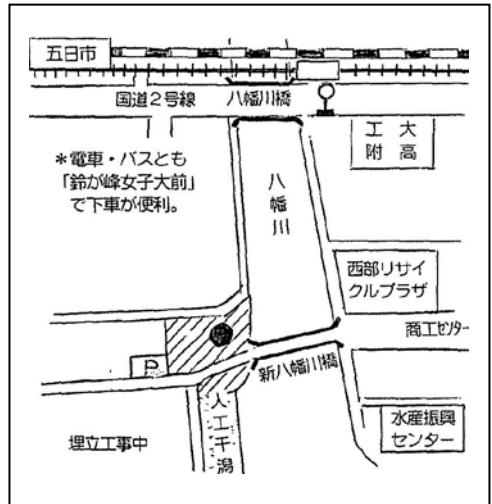
No. 1787 八幡川探鳥会 9 / 11 (日)

広島市近郊でも秋のシギ・チドリの観察会です。埋立地内の水際にシギ・チドリの姿を探しましょう。

■9:30 みずとりの浜公園・東端のベンチ周辺に集合。堤防沿いを歩いて探鳥し、12時過ぎに解散予定。この探鳥会は雨天決行です。

■終了後も引き続き観察したい方は、お弁当をご持参ください。

担当:日比野



●今年もハチクマを見送しましょう パート1

No. 1788 龍頭山探鳥会 9 / 23 (金祝)

豊平の明峰・龍頭山の麓の林で、渡りの小鳥達を探しましょう。後半は、山頂で視界 360° のパノラマを楽しみながら、ハチクマの渡りをのんびり観察します。

■8:30 「どんぐり村」どんぐり荘横の駐車場集合。ふもとを観察した後、車で山頂に移動して渡り観察。弁当・飲料持参。解散は状況次第。

■広島方面からのバス便は、
広電バス「琴谷」行き
(バスセンター⑦) 960 円
6:45 発～8:12 龍頭山登山口
(どんぐり村までは徒歩です)

■山頂近くまで車で行けます。歩く距離・高さはほんの少しです。ただし山頂一帯にトイレはありません。

担当:山室

●今年もハチクマを見送しましょう パート2

No. 1789 新山探鳥会 9 / 25 (日)

県東部のハチクマ渡り観察会です。今年もきっと感動的な渡りが見られることでしょう。

■9:00 シャンテパーク新山集合。

担当者は早い時刻から一日 中現地にいますので、ご都合の良い時間に適宜集合・解散していただいて構いません。

担当: 内海

■集合・観察場所が不明の方は、支部 HP でご確認ください。

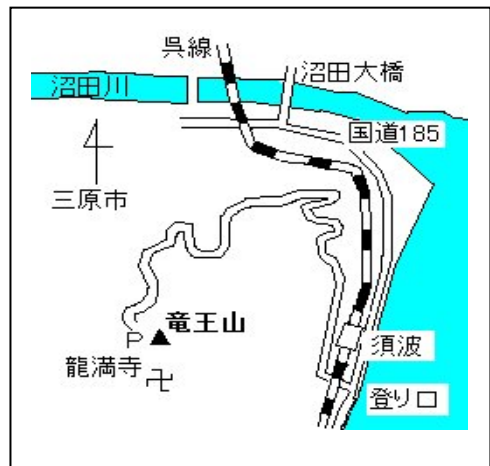
●今年もサシバを見送しましょう

No. 1790 葉田竜王山探鳥会 10 / 2 (日)

今年も竜王山の山頂(445m)で、眼下に広がる瀬戸内海の絶景を眺めながら、サシバの渡りを観察しましょう。

■9:00 三原市中央公民館に集合。山頂がわかる方は先行も可。解散は随時。

担当: 三好



●のんびり 川辺をウオッチング

No. 1791 可愛川探鳥会 10 / 9 (日)

「えのかわ」のハイキング探鳥会です。秋風を受けながら、カワセミやバン、渡り途中のノビタキなど、豊かな川辺の自然を楽しみましょう。

■9:50 広電バス吉田出張所に集合。車で移動し、川沿いを歩いて探鳥します。14 時解散予定。

担当: 出口

■お弁当・飲料をご持参ください。

■広島方面からは広電バスで
バスセンター 8:15 → 横川駅
8:20 → 9:46 吉田出張所

■川までの移動や帰りにつきましては、車の方は分乗にご協力をお願いします。

● 河口の水鳥ウォッチング

No. 1792 八幡川探鳥会 10/23 (日)

いよいよ冬鳥たちの本番に突入。河口や干拓地内に沢山のカモ類やカモメ類が帰ってきます。大きな変化から二年目の今年。新しい環境に適応しつつある鳥達の暮らしぶりを、引き続き観察していきましょう。

■集合時間は9:30です。

■集合地やコースなどの詳細は、9月と同じです。No.1787(9/11)でご確認ください。

担当：日比野

● みんなでミニ・バードソンを！

No. 1793 太田川探鳥会 10/30 (日)

そろそろ冬鳥の来訪を確認できそうな季節です。太田川の川辺をゆっくり歩いて観察しましょう。折しも「ミニ・バードソン 2011」が開催中。本探鳥会の参加者全員で参加します。

■8:30 アストラムライン白島駅に集合。

長寿園の森から京橋川～大芝水門～不動院と歩いて観察し、11時不動院駅で解散予定。

■観察結果に合わせて、1種につき10円の募金をお願いします。
(20種確認なら一人200円です)

担当：日比野

< 少し早目のご案内 >

● ゆったりと田園の野鳥観察

No. 1794 東広島探鳥会 11/3 (木祝)

心地よい秋風を受け、東広島の田園地帯をのんびり歩く探鳥会です。ご当地名物だったニューナイスズメやミヤマガラスの大群に会えるでしょうか？今年はどうな出会いがあるでしょう。

■9:40 八本松駅南口にご集合ください。

分乗して田園地帯に移動し、徒歩で観察します。

■14:00 解散予定。弁当・飲料持参ください。

■JR利用の方は

(上り)広島 9:00→ 9:29 八本松

(下り)福山 7:57→ 9:26 八本松

■農地・宅地が観察コースです。
観察マナーに十分注意して行動しましょう。

担当：山室



図書館だより

【寄贈本】

「地域別鳥類文献目録 中国・四国編 2011」

早川貞臣・恵子調査 早川貞臣編集・発行・寄贈

A4判 127頁 森の新聞2010年11・12月号参照。 中国地方の文献979点、四国地方712点を収録。6年間にわたり全国を巡る調査活動でほぼ完成された自費出版です。当館にも昨夏、訪問されました、熱意と貴重な活動に敬意を表します。

「新潟県の鳥 新潟県鳥類目録」

日本野鳥の会新潟県支部編集・寄贈 B5判 176頁

「やまなしの野鳥 山梨県鳥類目録Vol1 2011」

日本野鳥の会甲府支部・やまなし野鳥の会編・寄贈 A4判 145頁

「野鳥だより筑豊 日本野鳥の会筑豊創立40周年・会報創刊400号記念号 2011」

A4判 162頁

※上田恵介先生(立教大学理学部生命理学科教授) 寄贈

「希少野生動植物種生息状況調査 オセッカ・オアカゲラ・オースンアカゲラ1994」 当会

「日本鳥類標識協会大会講演要旨集 1994年」 日本鳥類標識協会

「奄美大島希少鳥類生息状況報告書 1995年」 日本野鳥の会

他、「都市におけるカラス被害の防止対策モデル事業報告書 2001年」

「マンブローブに関する調査研究報告 2001年」 「いのちは創れない 2002年」

「進化論という考えかた」 「プロ・ナトゥーラ・ファント」第15期助成成果報告書2006年」

「自然と共に生きる智慧をもとめて」 南硫黄島自然環境調査報告書2008年」

「図説生物学2010年」 「神奈川県立博物館研究報告書2011年」 等

【購入本】

「巣箱づくりから自然保護へ」

飯田知彦著 創森社発行 A5判 276頁

ご存知、広島在住のタカ・カンムリクシズメ・ブッポウソウなどの希少鳥類・希少生物の生態学者の飯田氏が考案した万能巣箱について具体的に実績に基づいて詳述した本です。

「S t r i x Vol.27 2011 野外鳥類学論文集」

上田恵介他編集 日本野鳥の会発行 B5判168頁

野鳥誌5月号・6月号参照 原著論文6編、短報7編、自然保護アピール編、報文8編。

回覧板です

★ 2011「秋のシギ・チドリ渡り調査」

支部が継続して行っている調査です

一斉調査日 9月11日(日) 前・後

春の渡り調査に続き、秋のシギ・チドリ類を観察記録します。調査に参加してみたい方は、調査担当者にご連絡ください。

■8月から10月末までの間、県内のフィールドで「秋の渡り」と見られるシギ・チドリを観察された方は、観察記録をお寄せください。9月末までに送っていただいた調査結果は短報として森の新聞でお知らせし、秋の期間中の調査結果は、まとめて年報に報告します。

□調査予定地(この他の調査地でも調査された記録もお寄せください)

調査地	担当者	連絡先
福山南部・松永湾(福山市)	石井	
沼田川および河口(三原市)	内海	
呉市・広西大川(呉市)	森山	
東広島(東広島市)	木本	
太田川放水路(広島市)	中崎	
御手洗川(廿日市市)	住田	
八幡川(広島市) 小瀬川(大竹市)	日比野	

☞問合先ならびに調査結果送付先：日比野

★ 森の新聞 PDF 配信と、「お試し」希望者募集！

毎度繰り返しております PDF 配信希望者募集のお願いです。現在の配信先は 17 名。支部会計の軽量化を果たすために更なる協力者を募ります。

□「お試し配信」～PDF 配信の出来栄を、「お試し」で一度味わってみませんか？

□ 今号のオマケ ～『森の新聞 創刊号』1982 年 8 月発行（保存作業中の試作品）

紙面から支部創設後の熱さを感じてください。

☞ 申込先 光本正伯 m_komoto@nifty.com

★「会員情報コーナー」新設のお知らせ

—支部活動以外の社会貢献も紹介— 情報をお寄せください

- ★多くの支部員の中には、支部主催・共催の探鳥会などの行事のほかに、個人的に野鳥に関する普及、教育的な活動等の社会貢献をされている方が少なくありません。
 - ★支部としても、支部員の野鳥に関する地域活動、社会貢献活動を紹介し応援する意味で、このたび森の新聞誌上に「会員情報コーナー」を新設することにしました。例えば前号6ページの回覧板コーナーでの日比野さんの講演会紹介のような記事を、今後は独立コーナーで紹介したいと思います。
 - ★支部員が社会的に広く活躍していることは、支部としての誇りでもあります。この活動を支部内外の皆様にもお知らせし、支部の活性化にもつなげたいものです。
 - ★ご自身から直接でも（これが望ましい）、お仲間からの紹介情報でもいいです。また、予告で参加者を増やす目的（これが望ましい）でも、実施後の情報提供でも結構です。小さな集まりでも、もちろん大きな催しでもいいです。紹介したい支部員の活動がありましたら、編集担当または福本までお知らせください。
- ☆なお、予告情報の場合は本誌裏表紙にある原稿締切日に少し余裕をもってお知らせいただくと次号でご紹介できます。

☞福本幸夫 連絡先

※※※※ ※※※※※ ※※※※ ※※※※ ※※※※ ※※※※ ※※※※ ※※※※

【お詫び】 野鳥情報公開基準違反について

前号表紙において、広島県東部で観察された「カワビタキ」の写真とその経緯を掲載しましたところ、会員の方より「支部の野鳥情報公開基準に反している」とのご指摘を頂戴しました。

あらためて「公開基準」を読みなおし、今回の「カワビタキ」情報は「ひろしま野鳥図鑑における迷鳥、或いはそれに相当すると考えられる種」と規定されるべき情報で、その観察地情報の公開は「二次細分」とされるべきであり、今回の森の新聞への掲載内容が基準に違反していたことを認識しました。

支部では、野鳥保護に寄与するために会員の皆様から広く県内の野鳥情報を収集することに努力し、ご提供いただいた情報は常に厳格に管理してきましたが、今回の私の軽率な紙面づくりにより、皆さまの支部に対する信頼を著しく損ねましたこと、紙面をお借りし深くお詫び申し上げます。

森の新聞 編集担当 光本正伯

今後、森の新聞編集に際して野鳥情報の取り扱いに慎重を期するとともに、情報管理についてのチェック体制構築を急ぎ、次回総会までにそのシステムを会員に提示し、総会時に説明する予定です。

野鳥情報

受付期間:	I, II	2011/6/7 ~	2011/8/6
	III	2011/6/11 ~	2011/8/6
報告者数:	9 名	種数: 50 種	件数: 16 件

※番外 0 件を除く。

【情報カード担当者からのお願い】

お寄せいただいた情報に観察日や種名がないなどの不備がある場合、確認がとれるまで登録できない場合がございます。特に紙媒体でのカードで連絡先が書かれていないケースでは、問い合わせもできず、貴重な報告が宙に浮いてしまうことになります。また、メールでお寄せ頂いたものはメールでお尋ねできますが、ご返事がいただけない場合には正確な情報として生かされません。連絡先の記載と、回答のご協力をよろしくお願いします。

また、情報の扱い（報告したのに掲載されない、報告と違う等）についてのお問い合わせは、支部メールまでお送りください（BCL06644@nifty.com）。調べてご報告いたします。

【広島・呉】 I: 3 件 , II: 0 件 , III: 6 件

カッコウ	♂1♀1	5/22	葉のまだついていない8m位の木でカッコウが鳴いているのをみていると、もう1羽が隣の木にとまる
クロジ	1	6/19	長い間囀り
クロツグミ	♂1♀1	7/5	声量のある囀り
キジ	8	7/17	雛はほとんど親と同大。雄親の交じった家族群は珍しい

【東広島・竹原】 I: 1 件 , II: 0 件 , III: 0 件

ナベヅル	4	2010 11/3	大崎の田にナベヅルが飛来しているのが観察された(3日間)
------	---	--------------	------------------------------

【福山・尾三】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 3 件

クサシギ	1	7/7	秋の渡りでは、かなり早い記録。夕刻、水田の畦の上で休息していた。
ハチクマ	1	7/13	水田や里山の上を旋回。最初ミサゴかと思っていたが写真でハチクマと判明。

【芸北】 I: 1 件 , II: 0 件 , III: 0 件

ミサゴ	2	5/18	魚をうけとったミサゴは常時正面しか見えず、幼鳥と確認できなかった
-----	---	------	----------------------------------

【備北】 I: 2 件 , II: 0 件 , III: 0 件

シマアオジ	♂1	2010 5/14	渡り。カシラダカ(♂1)と一緒に畑で採餌。♂第一回夏羽と思われる。
ヤツガシラ	1	2/20	2月20日, 22日, 24日, 27日写真記録あり

- ◆ここに掲載されたものは野鳥情報カードからの抜粋です。無断転載等は固くお断りいたします。
- ◆掲載されたもの全てが必ずしもそのまま公式記録になるわけではありません。ご了承ください。
- ◆野鳥情報カード I・II は事務所へ郵送、野鳥情報カード III は BCL06644@nifty.com へメール添付してお送りください。
- ◆新市町村名が分からない場合は、旧名称で記載してください。

連絡会報告

7月連絡会

日時 7月2日(土) 18:40～20:10

出席 益田、井町、光本、日比野

欠席連絡: 福本(連携団体全国総会出席中)、堀江、山室

1. 森の新聞表紙写真

「県支部野鳥情報公表基準＝迷鳥に相当する種は二次細分までの公表にとどめる」に違反する公表となった事を、新聞編集者から会員に、次号森の新聞紙上にて謝罪する。

2. ストリックス注文(日比野)

支部でまとめて注文する。

3. 支部報のPDF保存方針と状況(益田)

保存用原稿の無い号は会員に広く呼び掛けて収集に努める。

完成したデータは野鳥図書館で管理し、会員サービス用にも利用することを願う。

4. 森の新聞発送用封筒(光本)

当座の必要数だけ印刷し、支部名を戻すのは次回印刷時とする。送料の低減につながる情報を継続して収集する。

5. 自由意見交換

会員個人の活動・実践が野鳥の会広島県支部の活動実績となるため取り組みを図りたい。

8月連絡会

日時 8月6日(土) 19:00～20:10

出席 高橋、井町、光本、福本、堀江、山室、日比野

1. 報告事項

- ・支部長のスケジュールを調整し広島港湾振興事務所訪問予定
- ・広島市佐伯区区政振興課から問合せ(埋立地と野鳥の会との係わりを近々説明予定)(堀江)
- ・広島県レッドデータブック検討会用野鳥情報データ提供作業に着手する(日比野)

2. 森の新聞保存(光本)

- ・進捗状況の説明。(創刊号～試作 済) 発刊当時の内容をそのままデータ化し保存することを承認。
- ・森の新聞のPDF配信希望を再度募集し、申込者に創刊号PDFを提供する予定。

3. 探鳥会・事務所・編集(光本)

- ・事務所当番と探鳥会スケジュールを資料に基づき確認した。
- ・森の新聞 8月11日原稿締切
- ・H22年分年報は、10月原稿締切、今年中の発刊を予定する。

4. ミニ・バードソン(堀江)

期間: 10月22日(土)～11月13日(日)、
内容: 2名以上参加 参加費: 1名あたり200円、その他主要事項: 県内で1種以上観察すれば観察地点を問わない。日をまたがない24時間以内で出現種を記録する、募金は従来通り保護活動基金に。入賞チームに写真入り表彰状を予定

5. その他

支部に寄せられた会員の動静情報を広報(森の新聞他)をする。

野鳥図鑑の出版目指して、 皆様のご協力を!

<出版基金残高報告>

■H22 年度末、基金残高	円
■H23 年度の 寄附金	円
野鳥図鑑売上金	円
■H23. 08. 13 現在残高	円

以上、ご報告いたします。(会計: 光本)

小田■■■ (広■■市) 大徳■■■ (■■市) 瀧川■■■ (■■町)

★住所変更は支部・本部両方にご連絡下さい。(支部ですませたい方は「本部へ連絡を」と注記を)

★継続会費納入が4か月滞ると新聞の発送を止めます。

★退会の意思を表明されていないのに森の新聞が届かなくなった場合、事務手続き上でミスが生じている可能性があります。早めに支部または幹事までご連絡下さい。

GATHERING CALL ～ 編集後記

- 今年、ミニ・バードソンは22回目を迎えます。先輩方がこれまで続けられてきた支部の伝統行事を大切にしたいと思います。(堀江)
- 9月末に幕張で学会。宿泊地に南船橋あたりを推したが、同行者たちに「学会です」とあっさり却下された。最近、みんな鋭い・・・(酒井)
- あきらめでなく、いい事よくない事もそのまま受け止められるよう。まもなく繁殖を終えた野鳥がやって来る。(日比野)
- 7月下旬、地元の八幡川河口一斉清掃に友人と参加。タバコの吸殻、花火の残りとともにテグスや釣竿が目立ちました。鳥さん気をつけて！と言いたくなりました。(石川)
- 秋のシーズン到来です。探鳥会でお会いしましょう！(光本)

▽▽ 事務所と野鳥図書館 ▽▽

開館時間 土曜・日曜

14時～18時

*右記の開館日・担当者は変更される事があります。支部HPをご参照ください。

*電話で問い合わせは開館時間内をお願いします。
(留守電・FAXは、常時受け付けています)

*事務所当番ボランティア、募集中！

*次回「森の新聞」の作業予定は

10月10日(祝)原稿締切日(光本まで)

10月26日(水)発送作業 18:30～

みなさんのご協力をお待ちしております。

担当：光本 090-4694-8632

事務所当番

(9月)

3(土) 休館日	4(日) 佐々木
10(土) 図書館部	11(日) ■■
17(土) ■■	18(日) 休館日
24(土) 若木	25(日) 休館日

(10月)

1(土) 山室	2(日) ■■
8(土) 井町	9(日) 休館日
15(土) 日比野	16(日) 久藤
22(土) 図書館部	23(日) 久保
29(土) 休館日	30(日) 日比野

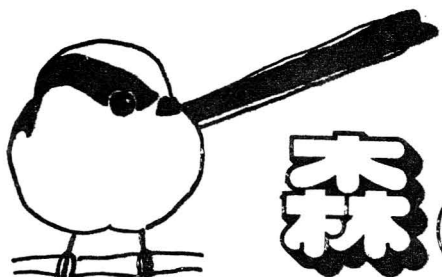
日本野鳥の会広島県支部 & 野鳥図書館

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目9-3 小田ビル 1F

TEL/FAX 082-233-7304

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html





日本野鳥の会 広島県支部

森の新聞

1982年8月
創刊号

★「支部の鳥」決定!!★

おまたせしました。ついに広島県支部の鳥が決定しました。!

1月の総会以来、予備投票、候補決定、本投票と行ない、みなさんからの投票も6月末で150票を越えました。集計の結果、過半数はおろか、四分の一を獲得したものもありませんでしたので、上位三種(いずれも35~40票)について、7月の役員会でいろいろ検討し、ヤマセミ、セグロセキレイ、エナガの中から、エナガが「支部の鳥」に選ばれました。

◎支部の鳥…………… エナガ

※候補鳥 エナガ ヤマセミ
セグロセキレイ トビ
カワセミ クマタカ

○何よりも「かわいい」

○「松虫」とも呼ばれているように、アカマツの多い広島県にはなじみが深い。

○集団生活で助けあって生きており、支部活動のシンボルにふさわしい。

今後、いろいろな活動に、シンボルとして使っていきたいと思いますが、それについて、会員のみなさんのアイデアを活用させてもらいたいと思います。6Pのような募集を行ないますので、ふるって御応募ください。

=====

「森の新聞」 創刊!

=====

この度、以前から役員会にありました「森の森聞」構想と、従来発行してまいりました「事業部だより」などをまとめて、新たに本誌のような「森の新聞」としてスタート致します。広島県支部の情報誌として隔月に発行することとし、行事の御案内、野鳥情報、役員会各部からのお知らせなどの内容の他、たのしいニュース・エピソード、会員同志の連絡・通信を盛り込んだ、会員の皆様の気軽なコミュニケーションの場にしたいと考えております。なお、森の新聞創刊により、支部報「森のたより」は年刊誌として、研究発表や読み物など、より充実した内容の機関誌となります。

森の新聞を皆様の身近な情報の場とするために、たのしいアイデア・御要望や、私信、会員同志の連絡、イラスト・カットなどをどしどし編集部宛てに 送り下さい

※※※※ 8～9～10月の行事予定 ※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

毎日暑い日が続いています。みなさんお元気ですか？

バードウォッチャーにとっては、まさに「夏枯れ」の季節も、そろそろ終りに近づいてきました。もうすぐ、水辺のシギ・チドリや、野山を渡っていくワシタカや小鳥達の姿が、私達の目を楽しませてくれる秋がやってきます。それに併せて、探鳥会や調査もどんどん行なわれますので、ぜひ御参加ください。

8～10月の予定は、下記のとおりです。

- (1) 8/29(日) No39 ガンカモのエクリップス(非生殖羽)を観察する会
- (2) 9/9(木) 例会「ワシタカ調査のはなしetc.」
- (3) 9/15(水祝) シギ・チドリ全国一斉調査
- (4) 9/19(日) No40 太田川探鳥会
- (5) 9/23(本祝) No41 茶臼山でワシタカの渡りを見る会他
- (6) 9/26(日) ワシタカ秋の渡り調査
- (7) 10/3(日) No42 吉田探鳥会
- (8) 10/8(金) 例会「ワシタカ調査報告」
- (9) 10/10(日) No43 箕島探鳥会
- (10) 10/17(日) No44 太田川探鳥会
- (11) 10/31(日) No45 東広島探鳥会

- (1) No39 ガンカモのエクリプス(非生殖羽)を観察する会

安佐動物公園大鳥舎で飼育されている、世界のガンカモ類の、ふだん見ることでできないエクリプスを観察します。あわせて、動物園の人にいろいろおもしろい話を聞かせてもらえましょう。

8/29(日) 10:30 安佐動物公園入口集合。バスセンターより便数多し。車は無料Pへ。

参加費+入園料・・・大人400円、小人200円

唇ごろ解散。天候にかかわりなく行ないます。

担当：桑原一司（飼育課） 他動物公園の方々

- (2) 室内例会「ワシタカ調査のはなしetc.」

ワシタカを見ることの楽しみ、秋の渡りのすばらしさ、今回の調査の要項などなどを、肩のこらないサロンでおしゃべりしたいと思います。興味のある方、調査に参加されたい方、ぜひおいでください。

9/9(木) 18:30~21:00

レストラン「花だん」牛田店（大芝水門の近く）

各調査地の担当者がお話しします。いつ来て、いつ帰るのも自由ですので、気軽におたちよりください。食事もできます
参加費 / 00 円。他に、そこで何か注文していただくと助かります。 担当：研究部 日比野 ☎294-8068

(3) シギ・チドリ全国一斉調査

シギ・チドリの秋の渡り調査、県内各地で行ないますので、参加される方は、各地区の担当者に御連絡ください。シギチに強くなる絶好のチャンスです！

○八幡川…………… / / : 00 五日市側集合

日比野 ☎082-294-8068

○御手洗川、三筋川……………三垣 ☎082-254-2862

○小瀬川(大竹) ……………藤井 ☎08275-3-2206

○箕島、福山港……………藤本 ☎0849-56-2681 9 : 00 埋立地

○藤井川(松永湾) ……………上原 ☎0848-25-4149

○広西大川(呉) ……………小谷 ☎0823-72-5185

○瀬野川……………飯田 ☎082-822-6033

○太田川放水路…………… / / : 00 庚午橋西詰

今田 ☎082-249-8288

※問い合わせは各担当、およびシギチ調査担当の、研究部 今田 まで。

(4) No40 太田川探鳥会

おなじみ、大芝水門付近の探鳥会です。まだまだ暑さの残っている時期ですから、6月同様、早朝「単」鳥会としたいと思います。

9 / 19 (日) 7 : 30 大芝水門東詰集合。へさか、高陽方面行きバスで牛田新町三丁目(盲学校前)下車。徒歩3分
10 : 00 までに解散。雨天中止。参加費 100 円

担当：小島 ☎082-254-2352

(5) No41 茶臼山でワシタカの渡りを見る会

26 日の一斉調査に先だち、広島市内の予定地である己斐の茶臼山無線台で、ワシタカの通過を観察したいと思います。この時期には、他にヒタキやツバメ類など、秋の渡り鳥が観察できます。

9 / 23 (木・秋分の日) 9 : 00 国鉄西広島駅前集合。そこからタクシーに分乗して山頂へ。(1人400円くらい)車の都合がつけばそれですましたいと思います。車で参加される方、西広島駅へ寄ってみてください。雨天中止。解散は山頂で各人のすきな時間にやる気のある方は夕方までがんばりましょう。 担当：小島

(★) 9/23(水) は、茶臼山以外の場所へも、いろいろ行く人があるようです。関心のある方はそれぞれの人に聞いてみてください。

○「県境～山口県側の山(小五郎山など)へ行きます」

……中林支部長☎082-843-5364

○「窓ヶ山で前の日からがんばるつもり。」……森本☎082-842-0711

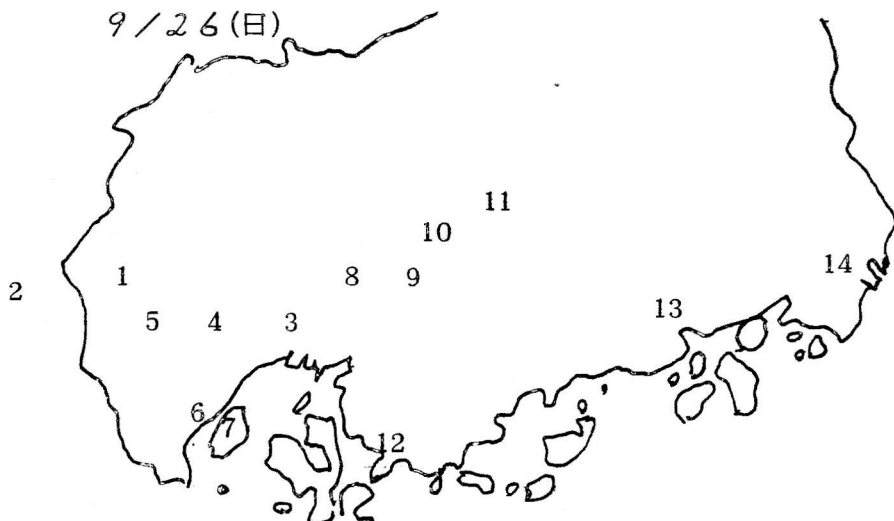
○「鷹の巣山でタカを見よう。」……小坂☎082-238-7358

○「どこか?へ行きます。」……大丸☎082-292-9892

(6) ワシタカ秋の渡り調査

広島県支部の目玉行事ワシタカ調査も今年で三回目。秋晴れの空を西へ向かうワシタカたちの姿は本当にすばらしいものです。調査に参加される方は、各担当者に御連絡ください。

9/26(日)



1 野田ヶ原(東山) ……佐伯☎082-282-8091

2 小五郎山(山口県) ……中林☎082-843-5364

3 茶臼山 ……伏見☎082-221-5251(前田方)

4 窓ヶ山 ……井上☎082-878-5419、茶村

5 大峰山 ……森本☎082-842-0711

6 経小屋山 ……住岡☎082-228-6465(中国地図)

7 弥山(宮島) ……熊谷☎08294-4-0519、白水

8 白木・鬼ヶ城山 ……河野☎082-261-3577

9 鷹の巣山 ……小坂☎082-238-7358、松岡

10 大土山 ……松本☎082-874-8990、吉見

11 岡田山(三次) ……大迫☎0829-41-1467

12 休山(呉) ……小谷☎0823-72-5185

13 竜王山(三原) ……上原☎0848-25-4149、徳岡

14 後山公園(福山) ……藤本☎0849-56-2681

- ※※ 1. 原則として、各場所とも日の出より日没まで観察する。
 2. 26日が雨天の場合は中止。10/3(日)に延期する。
 3. 総合的な問い合わせは、研究部 日比野☎082-294-8068 まで。

(7) No42 吉田探鳥会 (高田郡吉田町)

カルガモ、カイツブリ、カワセミなど、親しみやすい水鳥と、ノビタキの秋の渡りが見られる、気持ちのよい川辺の探鳥会です。

10/3(日) 10:00 吉田営業所集合

バスセンター 8:00 出雲大社行(特) 三次 9:08 センター行
 8:35 吉田行(普) etc.

参加費 100 円。昼食持参。雨天中止

担当: 出口☎08264-3-0485

(8) 室内例会「ワシタカ調査報告」

今回のワシタカ調査の成果をお互いに発表しあいましょう。調査に参加できなかった方もぜひどうぞ。食事をしながら聞く鳥の話、楽しいものですよ。

10/8(金) 18:30~ レストラン「花だん」牛田店

参加費 100 円。

(9) No43 箕島探鳥会 (福山)

シギ・チドリの名所箕沖埋立地の探鳥会です。今回は、あわせて対岸の竹ヶ端の干潟も観察する予定です。

10/10(日・祝) 9:00 埋立地西に集合

参加費 100 円。昼食持参。雨天中止

担当: 藤本☎0849-56-2681

(10) No44 太田川探鳥会

冬のお客様一カモたちも集まり出します。そしてノビタキやツバメたちは南へ渡っていきます。渡り鳥、冬鳥でにぎわい始める太田川、古川をゆっくり歩いてみましょう。

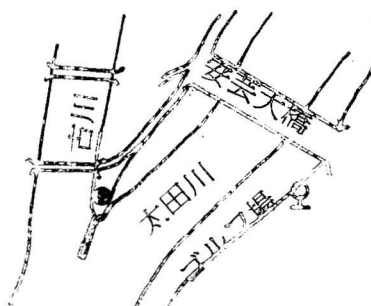
10/17(日) 9:00 太田川と古川の合流地点集合。

へさか、高陽方面行きバスで安芸大橋の手前下車。橋を渡って南下(徒歩15分)。車は河川敷へ。

まず古川観察。それから太田川を下って大芝水門まできて解散。途中、時間をみて昼食。

参加費 100 円。昼食持参、雨天中止

担当: 小島☎082-254-2352



(11) No45 東広島探鳥会

昨年と同じく、東広島の田園地帯を歩く探鳥会です。昨年は数十羽のタゲリの群れが見られました。さて今年は.....

10 / 31 (日) 9時ごろに国鉄八本松駅前集合

上り 広島8:26~8:57 八本松 }この二本を基準に。
下り 福山7:48~9:09 八本松

車の方は、農業試験場前(現地)に直接行かれても結構です
参加費 100円。昼食持参。14時ごろ解散。雨天中止。

担当：佐伯 ☎082-282-8091

※◆※支部鳥シンボルマーク応募について※◆※◆※◆※◆※◆※◆※◆※◆※◆※

支部のシンボルマークを作りたいと思います。支部鳥エナガの、すてきなデザインを考えてください。

○写実的なものでも、全くデザイン的なものでもかまいません。

○形（丸とか四角とか）は自由。もちろん、色も自由です。

○必ずしも「広島県支部」という文字を入れる必要はありませんが、何か「広島らしさ」のあるものを。（もちろん字を使ってもいいです）

○図案の線はすっきりと。大きさは、あなたがマークとしてふさわしいと思う大きさか、それ以上に大きくて見やすい大きさに。

※ 使途アイデア

支部鳥エナガ、そしてそのシンボルマークを

○どんなものに

○どんな時に }使ったらいいと思われませんか？「こうしたら」

○どんなふうに }というアイデアを、どしどしお寄せください。
実現可能なものはすぐやらせてもらいます。

以上、二つのことにつきまして、みなさんからの御応募をお待ちしております。

○募集しめきり 9月末日

○あてさき 〒734 広島市南区丹那町21-39マツイビル104号
小 島 規 嗣

○デザイン、アイデアなどについて入選、採用された方には、すてきな賞品を用意しております。ふるってどうぞ。

○正式な発表、表彰は'82年/月の総会で行ないます。

○本部誌「野鳥」のカットや、製品（Tシャツなど）にも、いろいろエナガが使われています。参考にしてください。

◎◎◎◎◎ 販売物のご案内 ◎◎◎◎◎

販売部では下記の販売物を取扱っております。御希望の方は、石井窓(082) 221-6905にどしどしお申し込み下さい。

◆Tシャツ 2000円

野鳥誌7月号に紹介されたエナガ、キクイタダキのTシャツです。半そで、純白で左胸にカラーの刺しゅう入です。サイズはM、Lありますが、小さ目ですので女性の方でもLをお勧めします。エナガの見本あり！

◆野鳥グラフNO.4 400円

セキレイ科特集 7月に50冊入りしました。バックナンバーも受付けています。

◆リュックサック

御好評のザック(10500円)、野鳥誌8月号新製品案内のバック小(8500円) 注文受付で仕入ますのでお早目に！

◆ワイルドバード 迷彩ブラインド 13000円

ただ今2つ注文あり！

◆決定版図鑑(英語版) 2900円

これも2冊注文あり！

◎ 販売部より御願い ◎

販売部に対して御意見、御希望、アイデア、アイデア商品を石井までお寄せ下さい。会員の皆様の便宜を図る為の販売部であるよう努めておりますが、まだまだ未熟者ですので、皆様の応援をお願い致します。

!!!!!!!!!! 野鳥情報 !!!!!!!!!!!

△ツリスガラ 4 81・11・18 八幡川 西本悟郎

△コクガン 1 82・3・17 八幡川 西本悟郎
14:50に発見したが5分後西南方向に飛び去った。

△コマドリ 1 song 82・4・4 牛田山 西本悟郎

△アカモズ 61 82・5・9 吉田町河愛川 出口義弘

△カルガモ 4(うちヒナ3) 82・5・16 古川 野津幸夫

△マガモ 2 82・5・30 君田村 塩田絹子 大丸秀士

△ブッポウソウ 2 82・5・30 君田村 塩田絹子 大丸秀士

ペアらしく求愛給飼を観察した。

△ミサゴ 2 82・6・4 宮島 熊谷美登
昨年の営巣場所が破壊されたため別の場所で営巣抱卵中

△サギのコロニ アオサギ8 コサギ3
82・6・6 牛田山西ろく 野津幸夫
他種がいる可能性もあり。

◎西中国山地鳥類繁殖調査

今年から始まったこの調査は6月6日、8ヶ所で一せいに行なわれました。合計で約60種の野鳥の生息が確認され、特に以下の鳥はこれまで繁殖はもちろんこの時期の生息さえも知られていなかったものがほとんどです。調査にあたった会員たちもこの成果には興奮気味です。

○繁殖を確認／ノビタキ

○繁殖の可能性あり／オオジシギ、コノハズク
コルリ、キバシリ、ホオアカ

○生息を確認したが繁殖についてはなんともいえない／ハリオアマツバメ、コヨシキリ
アオジ

○調査地／天狗石山、大佐山、刈尾山、三段峽
恐羅漢山、十方山、冠山、冠高原

②全国のツバメのねぐら調査について

静岡県浜松市の馬込川の河口付近のアシ原には、多数のツバメがねぐらとして集まり、7月下旬から8月一杯にかけては数万羽になるということです。このアシ原も河川改修などで失われようとしています。野鳥観察に適した河川の自然をうまく残していくために、多くのデータが必要です。遠江支部から「ツバメのねぐら調査」のアンケートがきました。ツバメのねぐらに心当りの方は事務局まで御一報下さい。アンケート用紙を送付します。

◎日本野鳥の会中級指導員養成講座について

探鳥会や支部運営のリーダーが不足しています。本部ではリーダーを養成するため、昨年から養成講座を開催しています。探鳥会の目的や方法、自然保護などの講義、野外での本物の探鳥会と内容も盛りだくさん。広島県支部をリードしているといふ意気込みのある方ぜひ参加して下さい。

期日 10月9日～11日

場所 東京青年文化会館

会費 15000円位(交通費も)
(支部から20000円位資金援助)

◎傷害保険について

探鳥会での万が一の事故に備えて、本部では傷害保険に加入しました。保障額は十分ではありませんが、死亡、後遺障害、入院、通院などについて保険の支払いがあります。探鳥会での事故は速やかに担当者または事務局まで連絡下さい。なおこの制度は本部会員にしか適用されません。(本部会費から保険を支払っている。)広島県支部では多少とも危険な場所での探鳥会の場合、支部のみ会員の方でも保険をかける意向です。

自然を学ぶ私たちは、また自然の危険を予測しこれをさける方法も学び、だれも事故のないように気をつけましょう。

◎私信 有明海探鳥旅行

福岡県柳川市付近の有明海のシギチを観察しに行きます。同行希望者は大丸まで。292・9892
8/27夜出発 30日夕方帰着
ワゴン車中一泊、28、29日はどこかの安宿
費用 15000円くらい

◎新しい仲間

近藤 玲子・山下 央・小林 泰樹・
川口 哲也・櫛田 靖夫・種村 晶子
岡本 文弥・増田 円・西尾 茂
吉田 誠一・石田 基子・垂水 宏昌
柳川 照夫・東常 哲也・中津 明通
福島 千代・桑原一司・山本 克和
高間 かをり・藤川 純子・
若宮 信二・網岡 幸代

(訂正) 佐々木 隆博→陵博

牛田(野鳥)を語ろう会の集い
日時:9月4日(土)午後7～9時
雨天決行

場所:レストラン「花だん」牛田店

ポスター作戦?で牛田地区の会員が20名近くになりましたので、一度親ぼくを兼ねた集いを開こうと石井響(082)221-6905が企画しました。牛田以外の方でもお気軽に参加をお待しています。

◎寄附について

本会へ次のとおり御寄附がありました。出版基金や会の活動費に有効に使わせていただきます。
81・9・15～82・4・8(御寄附順)

原田宏(6310) 中村清(500)

森本栄(10000) 川本ちづ子(5000)

藤岡好子(10000) 中林光生(5200)

前田岩雄(5000) 和田千恵香(3000)



郵便振替:広島2189